

学校研究

(1) 研究主題及び副主題

自ら考え思いを表す子

重点① 数学的な見方・考え方を働かせるための工夫

重点② つまずきの想定と手立て

(2) 研究主題設定の理由

今、求められている「主体的・対話的で深い学び」とは、簡単にいえば、自ら興味や関心を持って粘り強く取り組み、児童生徒同士の協働や教職員・地域の人との対話を通じて自己の考えを広げ、知識を相互に関連づけてより深く理解する学び方のことである。この「主体的・対話的で深い学び」を実現することで、資質能力の育成をはかっていくのだが、本校の児童は、「受け身、指示待ちの子が多い」「わからないと言えない」などの課題があり、「主体的・対話的で深い学び」の実現には至っていない。そこで、これまでも、特に「主体的」という部分に重点を置き、研究主題を「自ら学ぶ子をめざして」と設定し、算数科の授業における児童主体の授業に取り組んできた。昨年度をふり返ると、重点として取り組んできた「数学的な見方・考え方を働かせるための工夫」について実践を積み重ねることができた一方で、研究主題である「自ら学ぶ子」の捉えが曖昧であったことが課題としてあげられた。そこで、今年度は、「自ら学ぶ子」を具体的な表現に変え、「自ら考え思いを表す子」と設定することにした。「自ら考え思いを表す子」の実現が「主体的・対話的で深い学び」への第一歩であり、資質能力の育成につながると考える。

(3) 研究の重点

研究主題である「自ら考え思いを表す子」が具現化するように、昨年度までの共通実践を生かしながら、今年度は2つの重点に取り組む。

①数学的な見方・考え方を働かせるための工夫

研究主題である「自ら考え思いを表す子」とは、ただ自分から考えを話していればそれだけでよいということではなく、そこに数学的な見方・考え方が働いていなければ資質・能力の育成にはつながっていかないと考える。そこで昨年度児童と共に共有していた「ミカタ」を、来年度は単元を貫くミカタカードとして可視化し、常に掲示しておくことで、児童が数学的な見方・考え方を働かせながら授業を主体的に進めていけるようになるのではないかと考えた。このミカタカードは、教師から与えるものではなく、授業の中で児童と作り上げていくことが大切である。ミカタカードを獲得した単元後半であれば、それを活用して、児童が自走する場面も増えてくるはずである。また、ミカタカードを常に児童が手に取って動かすことのできる位置に掲示しておくことで、既習のミカタカードとつなげたり、共通点に気付いたりする児童があらわれてくると思われる。つまりミカタカードが、考えるための足掛かりになったり、思考の流れを整理・誘導してくれたりするものになり、児童が自走していくためのアイテムになると考えた。

②つまずきの想定と手立て

自力解決後の全体交流では、わかっている児童だけで学習を進めていては、置いてきぼりな子を作ってしまう、？や△の子がますます受け身になっていく。そこで、？や△の考えを大切に授業作りを行う。？や△からスタートすることで、視点が明確になり、理解が深まったり、教え合いや対話が生まれたりする。？や△の子にとってわかりやすい授業になるだけでなく、わかる子にとっても説明力がつく。すべての子を大切にする学級作りにもつながる。

そのために、児童がどこでどのようにつまづくのかを教材研究で把握し、そのつまづきをどう生かして授業を進めていくのかを事前に考えておくことが大切である。指導案の自力解決の場面には？や△の考えを、全体交流の場面ではどのような手立てをとっていくのかを、しっかり明記していくようにする。整理会では、？や△の児童がどのように変容していったのか、児童の姿で授業をふり返っていく。

自力解決では、全員が考えをもてるようにする必要はなく、？や△の考えも認めていく。全体交流での話し合いでは、数学的な見方・考え方を働かせながら課題を解決していく。その際に、大切な視点をミカタカードにしたり、既習のカードを活用したりしていく。そして、全体交流の最後にもう一度同じ問題を解き直す「リトライ」の時間を大切に扱っていく。

(4) 研究の進め方

- ・ 共通実践を具体的で焦点化された取組にすることで、資質・能力の育成を目指す。
- ・ 日々の授業で共通実践に取り組む。また、研究授業では重点について検証する。
- ・ 毎月ふり返しを行うことで PDCA サイクルを回し、研究の方向性や共通実践の取組に生かしていく。
- ・ 本校のめざす児童像に対して、国・県・町の学力調査や校内学力調査の結果や学習アンケート結果をもとに、児童の実態を把握し、授業改善の方向性を共通理解する。

(5) 研究計画

月	研究推進計画	校内研究計画	OJT 研修 (GIGA・若プロ)
4	・ 日常的実践の提案 ・ 教室掲示の確認 ・ 学習環境整備の推進 ・ 学習用具の点検 ・ 学習目標の提案・推進 ・ 低中高ブロック会	・ 全体研究会 (研究主題・重点)	【GIGAOJT】 電子黒板の活用研修
5	・ 学習目標の提案・推進 ・ 低中高ブロック会 ・ 家庭学習チェック週間の実施・表彰	・ 提案授業の事前研 ・ 提案授業 ・ 全体研究会	【GIGAOJT】
6	・ 学習目標の提案・推進 ・ 低中高ブロック会	・ 全体研授業 ・ 全体研究会	【GIGAOJT】
7	・ 学校評価集計・分析 ・ 低中高ブロック会	・ 全体研授業 ・ 全体研究会	【GIGAOJT】
8	・ 1 学期の成果と課題	・ 全体研究会	【GIGA 全体研修】 ICT 活用研修
9	・ 学習目標の提案・推進 ・ 学習用具の点検 ・ 低中高ブロック会	・ 学校訪問の指導案検討 ・ 全体研授業 ・ 全体研究会	【GIGAOJT】
10	・ 学習目標の提案・推進 ・ 低中高ブロック会	・ 全体研授業 ・ 全体研究会	【GIGAOJT】
11	・ 学習目標の提案・推進 ・ 家庭学習チェック週間の実施・表彰 ・ 低中高ブロック会	・ 全体研授業 ・ 全体研究会	【GIGAOJT】
12	・ 学習目標の提案・推進 ・ 学校評価集計・分析 ・ 低中高ブロック会	・ 全体研授業 ・ 全体研究会	【GIGAOJT】
1	・ 学習目標の提案・推進 ・ 学習用具の点検 ・ 低中高ブロック会	・ 全体研授業 ・ 全体研究会	【GIGA 全体研修】 ICT 活用研修
2	・ 学習目標の提案・推進 ・ 家庭学習チェック週間の実施・表彰 ・ 低中高ブロック会	・ 全体研授業 ・ 全体研究会	【GIGA 全体研修】 今年度の成果と課題
3	・ 学習目標の提案・推進 ・ 低中高ブロック会 ・ 読書賞表彰	・ 全体研究会	【GIGA 全体研修】 来年度に向けて